

# Hand in Hand

## 1学期前半を振り返って



7月16日(金)に行われた学年集会では、各クラスの学年委員さんから「1学期前半を振り返って」と題して発表してもらいました。紹介します。

みなさんは、1学期前半をどのように過ごしてきたでしょうか。青陵の三大大行事のひとつである体育祭、運動部の人たちの集大成となった中総体、3年生へと進級してから初めての定期考査である中間考査、毎日朝と放課後に練習を重ね、前期最高学年として臨んだ合唱祭など、様々な行事がありました。1組でも、それぞれの行事で高みを目指し、クラスの仲や団結力が高まったことを感じます。では、これらの行事を通して見えてきた1組の良い点、課題点について話していきます。

まず良い点についてです。1組の印象として、仲が良いということが挙げられます。合唱祭の練習でも、音程やリズムを教え合っていたり、歌い方について意見を交換する場面も見られました。また、休み時間には男女関係なく話している様子も見られ、クラス全体で仲が良いと感じます。体育祭でも、自分が競技に出ていないときには他の人の競技を応援するなど、自分一人ではなく他の人のことも考えられるクラスなのではないかと思えます。しかし、仲が良い反面、課題点として密になってしまっていることと定時着席ができていないということがあげられます。仲が良いということで、一つの場所に多くの人が集まってしまったり、つい話に夢中になってしまい、チャイムが鳴ったのにもかかわらず話続けている人が見られるということもあります。休み時間と授業時間のメリハリをしっかりとつけるようにするために、今後は一人一人が、もしも密になっていたり、チャイムが鳴りそうな時間だということに気付いた人は、周りの人に声をかけるなど、「歯車」を回すということを意識して過ごしていきましょう。

1学期も前半が終わり、着々と後期へと近づいています。この学年は、後期課程まではあと約8か月あるため、できることから一つ一つ取り組み、後期課程への準備をしていきましょう。

1組

新メンバーのクラスで、今年度を前期最高学年としてスタートしてから、早くも約3か月が経ちました。2組の皆さんは、後期課程に向けて、3年生という自覚をもって充実した生活を送れていますか。充実していると感じている人もいるかと思いますが、更に充実した生活を送ってもらうために、2組の学校生活の良い点と課題点をまとめてみました。

まず良い点は、一人一人の心がけがしっかりしているということです。これは、学年委員会で2組の良い点として、最初から挙げています。休み時間や授業など学級生活全体を通して騒がしいと思う瞬間は少なく、そうであっても、先生の「静かに」という言葉で、すぐに静かになります。これは、一人一人が周りを見て、周りのことを考えて行動できているということです。さらに、このことを他のいろいろな場面で生かされていることが、特に2組の良い点だと思います。例えば、体育祭の日は、出番がきたとき、試合から帰ってきたときにすぐに自分から進んで仲間に声をかけていました。また、合唱の練習では、皆を引っ張れる人が先頭に立って練習を進め、それにつられるようにクラスの皆が「歯車」のように行動できていました。学級目標の「with us」の部分が実践されていて、クラスが良い方向に進んでいる証拠なのではないでしょうか。しかし、そんな自慢できる2組にも課題点があります。まず、一部の人のChromebookの使い方、そして、最近では全体的にチャイム前着席やチャイムあとのガヤガヤ感が気になるようになりました。共通点として、一人一人の意識が薄れていることと互いの声かけが少ないことが挙げられます。さっきの良い点がここでも生かせると思います。まだまださらに高みを目指して、「Jump」できると思うので頑張りましょう。水曜日に発表された学年委員の月目標は何か覚えていますか。「軌道修正」です。2組に限らず、学年全体で良い行動とは何かを判断し、その良いことはさらに良い方向に伸ばし、自分なりに改善すべきだと思うことは修正するというのを、1学期が終わる前までに完璧にできるように皆で頑張りましょう。

2組

3年生の生活の4分の1が終わりました。今までのクラスを見ていて感じたことを紹介します。

私たちのクラスは個性が豊かで、かつ協調性や団結力を兼ね備えたクラスです。そのため良い点が多く、様々な面で力を発揮できているように感じます。しかしそれと同時に、課題点もいくつかあるため、これを機に考え直してほしいと思います。

まず良い点は、仲が良い点や行事に向かう姿勢が一丸となる点です。友だちが頑張っているから応援しよう、自分も精一杯できることをしよう、という精神が個々にはたらき、最終的には全員で積極的に取り組むことができています。実際に体育祭では多くの賞状を貰えたり、合唱祭では3冠を獲得できたりしました。

では、課題点とはどこに当たるでしょうか。このクラスは、先程のように全体で目標に向かうときの行動力は素晴らしいのですが、個人で取り組むべきものをないがしろにしてしまう傾向が見られます。週末課題の提出は完全ですか。チャイム着席は守られていますか。授業中はウトウトしていませんか。後期課程ではこのような基本的な習慣が大切になります。また、これらは個人の意思で起こる問題です。つまり、逆手に捉えると自分の気持ちを変えるだけでクラスを変えられるのです。

皆さんは1学期の学年委員の学年目標「ロケット」の意味を理解していますか。この目標には「中だるみをしない」という意味が込められています。皆さんは、気持ちを入れ替えて、中だるみが本格的な進歩を始める前に未然に防げる人たちだと思います。目に見える行事だけを頑張るのではなく、後期課程を意識し、些細なことからコツコツと努力を積み重ねてほしいと思います。

ぜひ、今後も良い点を伸ばしつつ、課題点を解消していきましょう。持ち前の団結力で更により良いクラスを作りましょう。

3組

皆さん、3学年が始まり約3か月が経ちました。新しい学習教材であるChromebookの追加やコロナ禍での多くのことが制限された生活など、普段とは違う学校生活が続いています。ところで、1学期前半が終わろうとしています。今一度日々の生活を振り返ってみてください。どうでしたか。私はこの4組の1学期前半を振り返ってみると、良い点と改善すべき点が挙げられると思います。

まずは良い点を挙げてみましょう。4組では、朝学習や朝読書と休み時間のメリハリがついていると言えるでしょう。また、クラスの男女の仲が良いということも、良い点として挙げる事ができます。班活動や休み時間などでは、一緒に話していたり、考えの深め合いを男女関係なくしてとても仲が良いです。また、中総体、体育祭、合唱祭でも、前期最高学年として1・2年生を引っ張り、良い手本を示すことができたと思います。

しかし、そんな4組ですが、改善すべき点として挙げられるところがあります。まず1つ目は、密対策に対してです。4組では休み時間のたびに多くの人々が1か所に集まっていることが良く見られます。しかし今のコロナ禍の中では、極力お互いの距離をとることを心がけましょう。2つ目はChromebookの使い方です。学習を深めるために与えられたものをゲームなどの別の用途で使っている人もいないのでしょうか。今後は必要なときに適切な内容で使うという、当たり前なことを当たり前にする自己管理を徹底していきましょう。

皆さんはこの3か月をどう振り返りますか。夏休み明けからは、青陵祭、実力考査、期末考査、そして後期の学習が本格化します。良い点は夏休み明けも続け、改善すべき点はなるべく早く、夏休み前までに改善していけるように、今後も頑張っていきましょう。

4組

学年集会では、先生から生活面として制服の着こなし、Chromebookの使い方、提出物の締切、『自律』と『自立』などの話がありました。また、先生から学習面として授業に臨む姿勢、主体的な取組、計画・振り返りの大切さ、自らチャンスを掴む行動などについて話がありました。

ぜひ皆さんも自身の生活を振り返り、頑張った点や成長した点、そして課題点を捉えてみてください。すくすくと“伸びる”ためには、仲間や先生方の話をきっかけに今現在の“自分”を客観的に捉えることがとても大切です。今回の話を受け止め、残りの1学期生活を仲間と共に充実したものにしていきましょう。

